

2026年4月28日

## 臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究課題名

海南病院 Critical Care Outreach Team (CCOT) 介入症例の予後とリスクの評価に関する研究

### 2. 研究責任者

海南病院麻酔科 秋丸 慎太郎

### 3. 研究の概要

従来、海南病院ではコード・ブルーシステムにより、病院内で心肺停止や呼吸停止を来した重症患者さんに対して緊急対応を行っていました。近年では、一般病棟の患者さんの生存率向上を目指して、重症症例の早期発見を行う RRT システム（院内迅速対応、急変前対応システム）による活動を開始しました。それらに加えて、RRT やコード・ブルーの起動基準を満たさない、重症化リスクの高い患者さんを対象に CCOT による介入を行い、リスク評価と重症化予防を行ってきました。

本研究は、海南病院に入院している患者さんで、CCOT による介入があった患者さんについて、その属性と予後について検討することを目的としています。

この研究により将来、CCOT の介入が必要とされる患者さんの背景に即した CCOT の介入基準などを見直すことで、より安全な病棟管理や高度な急変予測を行うことが可能と考えます。

### 4. 研究方法

#### ① 対象となる患者さん

この研究では、2024年4月1日から2026年3月31日までに海南病院に入院し、CCOT による回診の対象となった患者さん。

② 使用する試料等

カルテ情報：性別、年齢、ICU入室時の記録、4400コール、RRT及びCCOTの対応記録から接触時の状況、治療内容、バイタルサイン、National Early Warning Score、SOFA (Sequential Organ Failure Assessment) スコア、人工呼吸をしていた場合は人工呼吸器装着時間、DNARオーダーの有無、CCOT介入期間、入院期間

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 麻酔科 秋丸 慎太郎  
電話：0567-65-2511 (代表)